

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 製造業部門の拡大傾向持続を示唆(05年4月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日: 05年4月21日(木)

~ 緩やかな鈍化傾向持続 ~

(No. UI - 014)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001、4518 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
04/04	32.8	26.5	28.6	9.2	13.5	0.9	1.0	14.6	51.3	36.7	37.6
04/05	27.9	22.6	24.2	8.4	20.4	9.3	13.5	27.2	56.4	29.2	43.1
04/06	30.0	26.8	29.0	15.0	18.2	5.5	10.3	27.7	50.8	23.1	40.4
04/07	35.5	34.2	39.7	3.2	22.9	14.8	17.2	33.8	50.2	16.4	37.6
04/08	29.2	23.2	32.8	1.8	20.0	5.8	3.9	33.6	54.3	20.7	50.3
04/09	15.9	26.8	25.4	2.7	22.9	2.9	2.8	34.6	56.7	22.1	43.6
04/10	27.2	23.5	26.5	2.4	15.0	0.3	2.2	33.2	57.2	24.0	27.8
04/11	19.7	20.8	21.4	4.2	15.4	2.9	1.8	30.3	55.4	25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	4.5	14.0	1.1	3.0	21.1	53.8	32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	2.7	17.0	3.2	5.2	24.7	66.1	41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	7.4	12.3	7.1	2.8	24.6	43.5	18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	5.3	10.1	3.5	2.1	15.3	29.7	14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	3.8	28.0	50.5	22.5	27.5

(出所)フィラデルフィア連銀

25.3 と前月から12.5 ポイント大幅上昇

05年4月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は、+25.3と市場予想の+10.7への低下に反し3月の+11.4から上昇した。これを受け4月のNY連銀製造業景況指数によって市場で強まっていた景況の大幅な減速懸念が後退した。

この統計自体は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要がある。同ベースでの総合指数は、プラス幅が緩やかに縮小しており同地区製造業部門が鈍化傾向を辿っていることを示している。ただし、受注指数が3ヵ月連続で上昇していること、出荷も前月比で上昇しプラス幅が大きいことから、同地区製造業の景況が下げ止まる可能性がある。

仕入れ価格のプラス 幅拡大

個別にみると、新規受注のプラス幅が拡大しており先行きの生産増が期待できる一方、在庫の増加、出荷の大幅なプラスもよる受注残のマイナス幅拡大といった動きから、目先生産の鈍化が見込まれる。インフレ面では、仕入れ価格が足元での原材料価格上昇を受け再び大幅なプラスとなり、同時に販売価格も上昇幅で下回るもののプラス幅が拡大していることから、製造業部門でのインフレ圧力が再び強まっていることが示唆されている。収益性では、販売価格、仕入れ価格ともにプラス幅を拡大したが、仕入れ価格の拡大幅が大きいため、交易条件は前月から悪化している。このような中、雇用指数が+16.8、労働時間が+20.4とともに前月から上昇していることから、同地区製造業の雇用が持続的な改善環境に入ったことを示している。

2005 年後半の設備 投資も堅調維持

先行きに関しての調査では、半年後の景況感を示す指数が+27.5と3月の+29.8から小幅低下にとどまり大幅なプラスを維持していることから、経営者の楽観的な見方が維持されている。

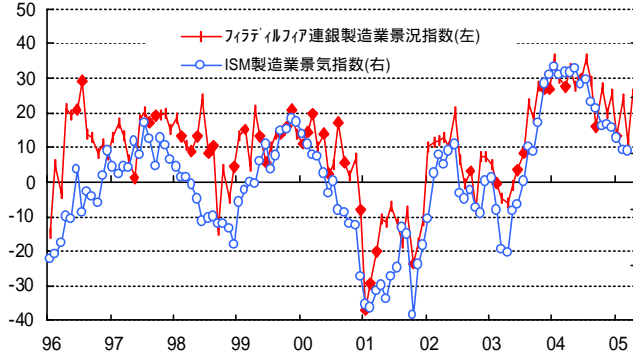
半年後の収益環境では、引き続きコスト削減圧力が強い状況を予想しているものの、仕入れ価格の上昇圧力軽減を見込んでいる。このような見通しのもと、半年後の雇用は+192(3月+215)とプラス幅が大きいことから、雇用環境の改善持続を示唆している。さらに、労働時間もプラス幅も拡大していることから、所得の拡大が見込まれる。一方で、在庫についてはマイナスに転じており、引き続き在庫の積極的な積み増しには慎重な姿勢を維持するとみられる。

設備投資に関しては半年後の設備投資見通しが+32.1と3月の+30.4から上昇しプラス幅も大きい。さらに、今回実施された特別調査によると、2005年に45.8%の企業が生産能力を増強すると回答した。どの程度生産能力を拡大するかとの問いには、増強と回答したなかの44.7%が5~10%、18.4%が10~15%、15.8%が15%以上の生産能力増強を計画している。以上のことから、同地区での設備投資は情報化投資だけでなく生産設備投資の拡大を伴いながら、2005年後半も堅調に推移することを示唆している。

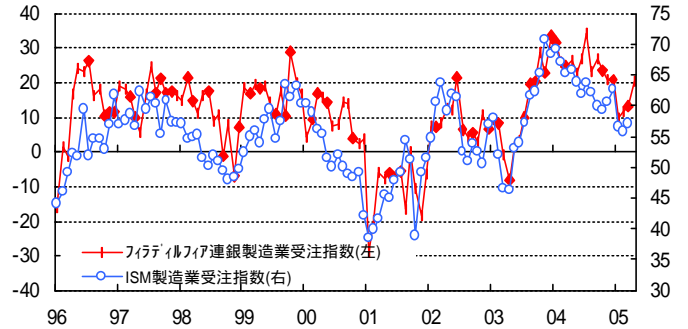
ISM 製造業景気指数は前月から小幅上昇が見込まれる

この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。4月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)が大幅に低下したものの、フィラデルフィア連銀製造業景況指数が前月から大幅に上昇したことから、4月のISM製造業景気指数は3月の55.2から55.4程度への上昇が見込まれる。

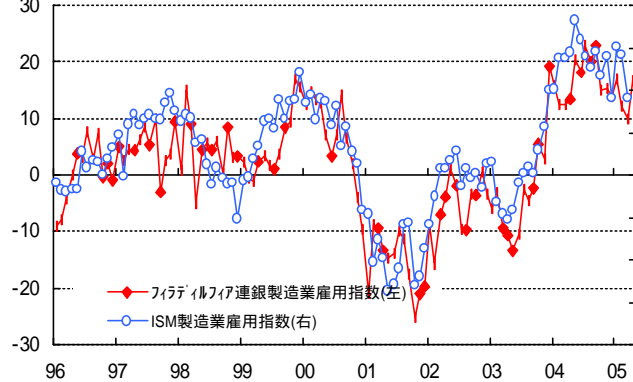
フィデイルフィア連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



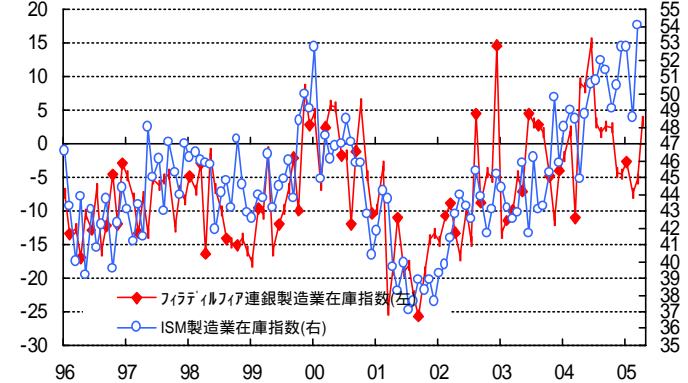
フィデイルフィア連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



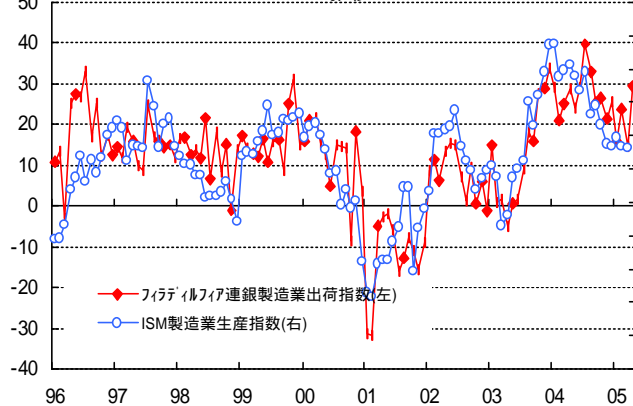
フィデイルフィア連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



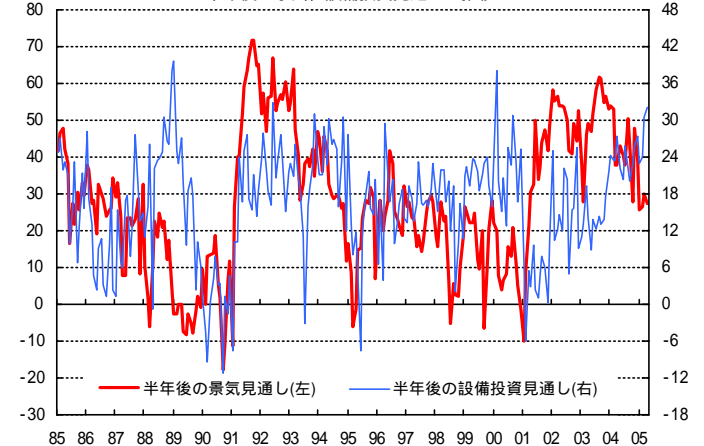
フィデイルフィア連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



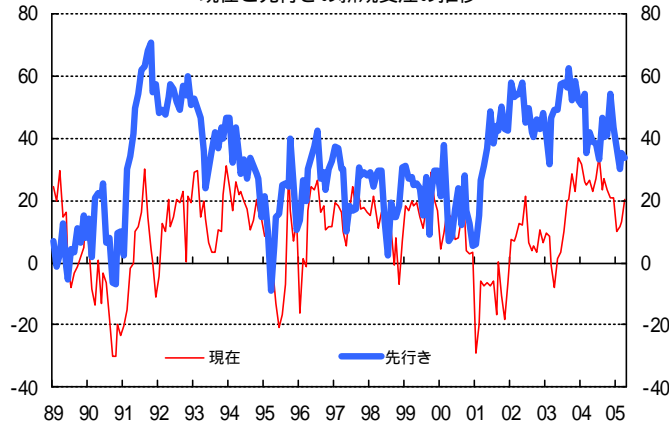
フィデイルフィア連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



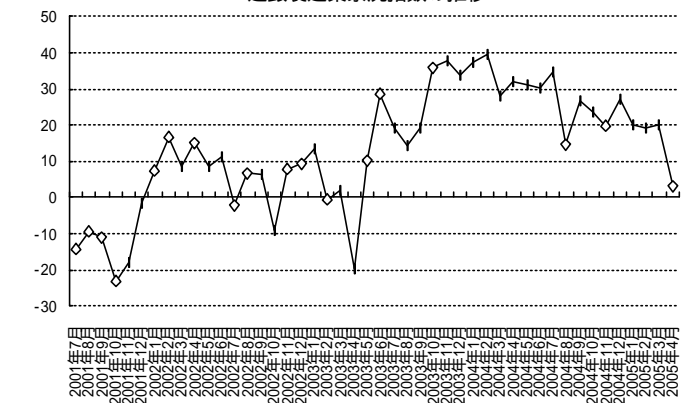
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。